

「野の花の丘便り」10月

花は枯れても

10月になっても夏のような日が続いていますが、春、夏、秋と頑張ってくれた「野の花の丘」の多くの花たちは役目を終えたようです。一方春から夏の間はどこにいたのか全く目立たなかったユウゼンギクが、9月になると忽然と姿を現わし、一面に紫色の花を咲かせています。園路の反対側のピンク色のハギの花とあわせて秋の「野の花の丘」を彩っています。

5月のセンダイハギに始まり、6月～7月のエゾクガイソウ、ヤナギラン、オカトラノオ、ツリガネニンジン、8月のオミナエシ、9月～10月のユウゼンギクなど今年もたくさんの花々が、目を楽しませてくれました。

花は終わり、草は枯れて種子は実り、来年に向かって、しっかりと命をつないでいるようです。

「地に命託して草の枯れゆけり」

今年目を楽しませてくれた花々

センダイハギ



ヤナギラン



エゾクガイソウ



オカトラノオ



ツリガネニンジン



オミナエシ

